

4 歳児（もも組）保育指導案

1 幼児の実態と教師の願い

2 期のねらいと内容（9月～10月）

- 気の合う友達や教師と一緒に遊ぶ中で、友達の遊びや動きに関心をもつ。
- 身近な秋の自然に興味をもち、ふれたり遊びに取り入れたりすることを楽しむ。
 - ・気の合う友達や教師と誘い合って一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
 - ・自分が感じたことや考えたことを言葉や動きで友達や教師に伝える。
 - ・運動遊びや簡単なルールのある遊びに興味をもち、体を動かす心地よさを感じる。
 - ・虫の鳴き声を聞いたり木の実や種を集めたりしながら季節の移り変わりに気付き、秋の訪れに関心をもつ。

3 週のねらいと内容（10月23日～10月27日）

- 気の合う友達や教師と思いや考えを出し合いながら遊ぶ楽しさを感じる。
- 身近な秋の自然に興味をもち、取り入れて遊ぶことを楽しむ。
 - ・友達や教師と一緒に伸び伸び体を動かして遊んだり、簡単なルールのある遊びに挑戦したりする。
 - ・自分の思いを言葉や動きで伝え、友達や教師に伝わる喜びを感じる。
 - ・友達の思いや考えを聞き、関心をもつ。
 - ・木の実や種を探したり遊びに取り入れたりして楽しむ。

4 本日のねらいと指導計画

ねらい

- 自分の思いを伝えたり友達の考えを受け入れたりしながら、友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 身近な秋の自然にふれ、木の葉や実を使って工夫したり、試したりして遊ぶおもしろさを感じる。

時刻	予想される幼児の生活・内容	指導の要点と環境構成
7:40	<ul style="list-style-type: none"> ○登園する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と挨拶を交わす。 ○登園時の活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の始末をする。 ○自ら選んだ遊びをする。 <p>体を動かして遊ぶ。☀️🌂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長児や友達の姿を真似ながら、ボールを避けたり、時には投げたりしてドッジボールを楽しむ。(☀️🌂) ・友達と一緒に、力を合わせてゴールをめざしたり、ジャンケンを楽しんだりしながら、ドンジャンケンをする。(☀️) ・伸び伸びと体を動かしながら、固定遊具や鉄棒に繰り返し取り組む。(☀️) 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児一人一人と明るく挨拶をしたり、笑顔で迎え入れたりして、安心して園生活を始めることができるようにする。 ○自分で身支度をしようとしている姿を認めていくことで、自信をもち、継続して取り組んでいけるようにしていく。 ○自分のしたい遊びに取り組んでいる姿を見守ったり、幼児が工夫しながら遊んでいる様子を認めたりする。 ○自分の力を試したり、年長児や友達と遊ぶ楽しさを味わったりすることができるような雰囲気づくりをしていく。 ○安全に遊びを進めることができるように、必要に応じて一緒にルールを確認し、幼児と共に遊び方を相談していく。 ○友達と協力して遊ぶおもしろさや、ドンジャンケンならではのスリル感を味わうことができるように言葉をかけていく。 ○遊ぶ中で感じたうれしさや悔しさを受け止めながら、もう一回やってみようという意欲につながるよう関わっていく。 ○繰り返し挑戦する楽しさや競い合うおもしろさを味わえるよう、自分なりに楽しんでいる姿や頑張っている姿を励ましていく。

	<p>リズム遊びをする。☀️☂️</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせて体を動かしたり、ポンポンを持って踊ったりすることを楽しむ。 ・友達や教師が踊っている姿を見て楽しんだり、見てもらううれしさを感じながら踊ったりする。 <p>秋の自然物を使って遊ぶ。☀️☂️</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の葉や小枝、実等を食べ物に見立て、ごちそう作りを楽しむ。 ・作った物を使って遊んだり、友達や教師とのやりとりを楽しんだりする。 ・ドングリ転がしやオナモミの的当て等、自分なりに試しながら遊ぶことを楽しむ。 <p>砂遊びをする。☀️</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スコップやジョウロを使って、友達と一緒に山や池等を作ることを楽しむ。 ・砂の感触を味わいながら、型抜きや皿、スプーン等の道具を使って、ごちそうを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○踊ることが楽しいと感じられるように、教師も共に体を大きく動かして表現し、笑顔で踊る。 ○踊っている様子を見ることができるときを用意したり、手拍子をしたりして、温かい雰囲気の中で踊ったり、見てもらう喜びを味わったりすることができるようにする。 ○一緒に園庭にある葉や実等を探したり、遊びにしたい物を選んだりして、幼児の作りたい物が実現できるようにする。 ○幼児のイメージを引き出したり、友達が遊んでいる様子にも気付くことができるような言葉をかけたりしていく。 ○友達と一緒に考えたり工夫したりして作っているところを認めていき、友達が頑張っている姿や作った物のよさに気付き認め合えるような言葉かけをしていく。 ○友達や年長児の姿に刺激を受けながら何度も挑戦している姿を認め、工夫したり、繰り返し遊ぶことを楽しんだりすることができるようにする。 ○どのくらい掘り進めていけばよいか、水はどれだけ必要かということを考えながら繰り返し試している姿や気付きを認めていく。 ○自分の思いを友達に伝えようとしている姿を見守り、必要に応じて言葉をかけていくことで、思いの伝え合いをしたり、自分の思いが友達に伝わるうれしさを感じたりできるようにする。 ○教師自身も一緒に砂に触れることで、手触りを伝え合ったり、道具を使って様々な物を作ることができる驚きや発見、喜びを共有したりしていく。 ○まだ遊びたい気持ちを受け止めながら、自分から片付けに取り組んでいる姿を認め、片付いていく気持ちよさが感じられるようにする。 ○幼児と一緒に楽しかったことや頑張っていたことを振り返ることで、満足感や充実感を味わったり、来週からの生活に期待がもてたりできるようにする。 ○全員で気持ちのよい挨拶をすることで、安心して降園できるようにする。
10:20	<ul style="list-style-type: none"> ○片付けをする。 ○降園時の活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・降園準備をする。 ・今日の生活を振り返ったり、来週の予定を聞いたりして、来週からの生活を楽しみにする。 	
11:00	<ul style="list-style-type: none"> ○降園する。 	

評価	<p>(幼児の育ちをとらえる視点)</p> <ul style="list-style-type: none">○様々な遊びに取り組む中で、思いや考えを自分なりの表現で伝えたり、友達の思いを受け入れたりしながら、友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさを味わっていたか。○園庭にある秋の自然物に興味をもって、触れたり、遊びの中に取り入れて自分なりに工夫したり試したりしながら遊ぶことを楽しんでいたか。 <p>(自らの保育を振り返る視点)</p> <ul style="list-style-type: none">○自分のしたい遊びに取り組む中で、思いや考えを自分なりに表現している姿を認めたり、友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさや思いが伝わるうれしさを感じたりすることができるような言葉かけができていたか。○幼児が自分の思いや考えを伝えようとしている姿を温かく見守り、思いを受け入れながら遊ぶ楽しさが感じられるような関わりができていたか。○身近な自然物を見つけふれ合う楽しさや、遊びに取り入れるおもしろさを感じられるような言葉かけや環境構成ができていたか。
----	---